

第1回

まちづくりヒーロープレゼンコンテスト

SDGsの実現に向け地域社会で頑張っているヒーローを見つけよう！

大会日時 2023年8月20日(日)

開催場所 国立大洲青少年交流の家

《応募作品》

原文のまま掲載しています



白鳩保育園 園長 小笠原 美智恵 様

総合1位 ヒーローPR大賞 [A Hero of Imabari's Children] 愛媛県立今治北高等学校 (今北写真部)

小笠原先生は、小学6年生の時に母を亡くして寂しい思いをしたことで、保母さんになることが夢になった。保育士としての経験を積んだのち白鳩保育園を作り、この60年間で合計14もの施設を作ってきた。

特に印象に残ったのは、子供の成長を感じた時や気持ちが見えた時などにやりがいを感じるということ、うまくいかない時には転んでも石をつかんで起き上がるという不屈の精神だ。

私たちの町、今治を作ってきた先人の知恵を生かして、今後も住み続けられる町づくりとは何かを自分たちで考え行動していきたい。



地域おこし協力隊 山口 聖 様

総合2位 プレゼン賞 [向き合う] 愛媛県立南宇和高等学校 (スクラボ)

私たちが取材した際、「生徒を色んなものさしで見る」とおっしゃっており、それは主に進路のアドバイスや個性診断などをしてくださっている山口さんならではの考えだと思った。自分自身も知らなかった自分に気づかせてくれ、学校の勉強だけでは学べないことをたくさん教えてくれる存在だと改めて感じることができた。

また、自身の学生時代や青年海外協力隊の頃の挫折としっかりと向き合い、それを今の活動に生かしていることを知り、様々な経験を積んだ山口さんだからこそできる素晴らしい仕事だと分かった。



ミヤモトオレンジガーデン 宮本 泰邦 様

部門賞 エンタメ賞 [次世代に受け継ぐ農家の笑顔] 愛媛県立川之石高等学校 (川高報道部)

取材をしてみて、宮本泰邦さんはどの農家よりも新しいものを素早く取り入れ、私たちは農家の「パイオニア」だと感じました。また、グローバルGAPを取得することで、「食品」、「労働」、「環境」の保全に力を入れたり、機械を電動化することで、従業員の皆さんの安全を一番に考えておられる素晴らしい経営者さんだと思いました。そして、企業的農家というのは、収益も考えながら経営しないとイケないため、大変なのだなど強く感じました。

宮本さんは、SDGsがいわゆる前からSDGsに取り組みされていたSDGsに関する賞も受賞されていて、話を聞いてとても勉強になりました。



山本牧場 堆肥センター 山本 幸裕 様

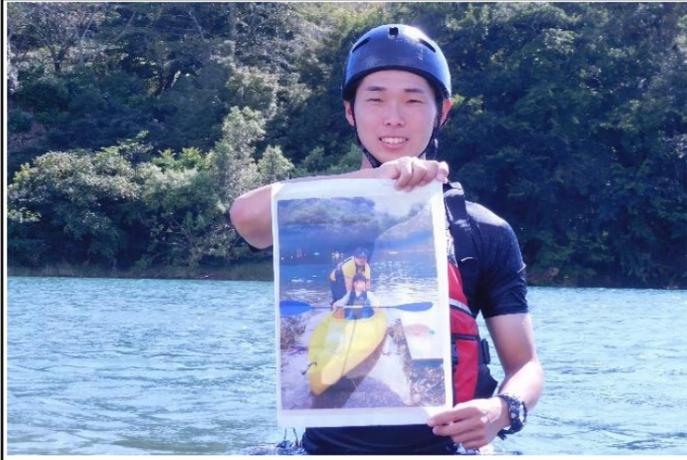
部門賞 リサーチ賞 [山本さんのヒミツ] 愛媛県立宇和島東高等学校 津島分校 (キラめけTJK☆)

堆肥がどのように作られているのかを実際に見学して1つの堆肥にたくさんの労力がかかっていることを知りました。また、山本さんはダンボールコンポスト「MazeMaze」という取り組みも行っています。

「MazeMaze」とは山本さんが作った堆肥が入ったダンボールの中に生ごみを入れて混ぜるだけで微生物が生ごみを分解して廃棄せずに堆肥にするというものです。

私たちもダンボールコンポストに挑戦したりしてこれからSDGsの取り組みをしていきたいと思えます。



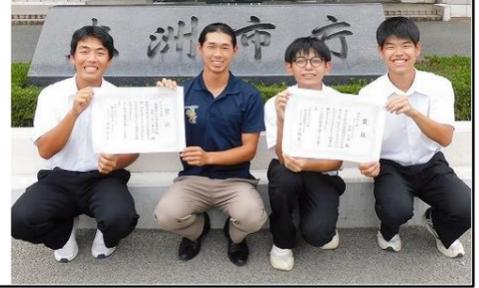


公務員 杉井 太一 様

部門賞 エンタメ賞 [Life is beautiful]
愛媛県立大洲高等学校 (長瀬一真の夢日記)

今回杉井さんにインタビューをさせてもらい、大洲市がどのようなイベントを企画し、私たちが住んでいるこの街をどのようによくなってほしいかということがよくわかった。こちらからインタビューを申し込んだにもかかわらず今までの過去の資料までも用意していただき、非常にありがたく感じた。

杉井さんの話で、イベントは川と街をつなげる懸け橋となることを知り、これからの大洲にかかわっていきたいと思う。



JA えひめ未来 小野 由希子 様

[0円食堂のヒーローとは?]
愛媛県立小松高等学校 (養正レンジャー)

小野さんが仕事にける情熱や SDGs、今後の西条市の課題など急だったにも関わらず詳しく聞くことができ、嬉しかったです。私たちが行った0円食堂の感想を聞くことにより、改めて振り返りすることができました。

普段学校にいる時は、大人の方の話を聞くことは多くないので今後進学や就職をしていく中で参考になる貴重な時間になりました。



大洲市長 二宮 隆久 様

[well being]
愛媛県立大洲高等学校 (古民家を愛する会)

課題研究の授業で大洲の街を歩くことは何度もあるけれど、歩くたびに新たな発見があります。インタビューして郷土について知ることは持続可能な社会にするための第一歩になると考え、もっと郷土について深く知りたいと感じました。

市長の目線から見たまちをうかがい知ることができ、大洲の魅力を再発見することができました。どうして大洲が世界一に選ばれることができたのか、その片鱗を垣間見ることができたように感じます。



愛南町役場商工観光課・地域おこし協力隊 関根 麻里 様

[夜の街で愛南を救う!? ~地域おこし協力隊のヒーローに迫る~]
愛媛県立南宇和高等学校 (愛南愛し隊)

町外出身の関根さんだからこそわかる愛南町の魅力を語っていただき地元で生まれ育った私たちでは気付くことの出来ない視点を与えてくださった貴重な取材でした。また、見ず知らずの町へ来て自分のやりたいこと、楽しそうだと思うことを仕事にして、前例のないものにも果敢にチャレンジを行う関根さんの姿はとてもカッコよく、私たちそれぞれの将来像を考えるきっかけになりました。

今回の取材、プレゼンを基盤にしてこれから私たち高校生から愛南町の魅力を発信していきたいと思いました。



きつねのぼたん 加島 誠也 様

[島デザイン部が届ける大三島の魅力~!!]
愛媛県立今治北高等学校 大三島分校 (島デザイン部)

自営業の方にお話を聞けるのはなかなかないので、とても新鮮で楽しかったです。コロナ禍の苦悩は現場でどんなことが起きていたのかが知ることが出来、貴重な話を聞くことができました。

きつねのぼたんさんは下宿生の受け入れや、寄宿の晩ご飯を作っているだけでなく、学校である調理講習会や夕涼み会というイベントなど様々な場でお世話になっているお店です。

飲食業をしているので食に関する教育はもちろん、夕涼み会では、高校生が屋台の計画、運営するブースの管理をしてくださっています。私たち高校生が企画、運営を学ぶなど勉強以外の学習の場の提供をしてくださっています。

地域の人への感謝を忘れず、学校生活を送っていきたいです。



第2回「まちづくりヒーロー」プレゼンコンテスト

日時：2024年 8月18日（日）10:00～
場所：国立大洲青少年交流の家

| | | |
|---------------|---|--|
| テーマ | 「まちづくりヒーロー」から学ぶ自分たちの未来とまちの魅力 | |
| | 私たちのまちには、毎日地域社会を支えている人たちが沢山いる。彼らは私たちにとって「まちづくりヒーロー」である。 このプレゼンコンテストでは、自分のまちで働く「まちづくりヒーロー」に取材をする。取材では、彼らの仕事（もしくはボランティア活動）の内容ややりがい、地域社会への貢献や思いなどを聞いてみる。 そして、彼らからインスピレーションを得て考えた自分たちの未来や、まちの魅力をプレゼンする。 | |
| 大会目的 | ●課題探求力、表現力を養う ●地域活性化の担い手である高校生の地域社会への関心をより高める ●自分の未来を考える力を養う | |
| 応募資格 | 愛媛県内の高校生（同じ高校に通う3～5名を1チームとする） | |
| 応募規定 | ① プレゼンテーションは 学校紹介(1分以内)を含めた7分間 ② 被写体の肖像権については、撮影者が了解を得ること。また、音楽を使用する場合は、引用元の許可を得ること ※大会の記録として、当日の様子を動画サイトにアップロードするため ③ プレゼンに使うツール、表現方法は自由。自分たちの内容やメッセージに合うものを選ぶ ※ただし、動画を使用する場合はプレゼンの補助的な役割に留めること | |
| 応募書類 | ① エントリーシート 2024年6月7日(金)応募締切 プレゼンアドバイス講座、対話講座へ参加の有無 ※講座の詳細はエントリーシートに記載 ② 応募用紙 2024年8月7日(水) 応募締切 各氏名、チーム名、プレゼンタイトル、ヒーローの詳細 などを書いて提出 | ゆるサポ愛媛  書類ダウンロードページ |
| 応募方法 (提出先) | エントリー用紙及び応募用紙は、事務局へ提出（提出方法は、メールまたはFAX） 【ゆるサポ愛媛事務局】 Gmail: yurusapo.ehime@gmail.com FAX: 0898-35-2713 | |
| 審査基準 | ① まちやヒーローを分析し、目的や課題を明らかにできているか ② テーマに関する情報を集め、分析、整理し、出典や引用を正確に記載できているか ③ プレゼンの目的やテーマに沿って、論理的に整理し、構成できているか ④ 聞き手に配慮した、わかりやすいプレゼンテーションになっているか ⑤ 自分のまちを支える人への取材を通して、自分やまちの将来像を考え、プレゼンで提示できているか | |
| 表彰 | 総合 | ヒーローPR大賞・準優勝 2チーム |
| | 各メディア賞 | エンタメ賞・リサーチ賞 他 6チーム |
| 大会主催運営 | ゆるサポ愛媛（まちづくりヒーロープレゼンコンテスト実行委員会） | |
| 大会後援 | ・愛媛県教育委員会 ・愛媛新聞社 ・愛媛県高等学校PTA連合会 ・各メディア他 | |
| 注意事項 | 大会当日のプレゼンは録画し、HP、youtube等に大会の記録として公開する。 | |



●プレゼン作りで楽しかったことは何ですか？ ※生徒32人へのアンケート

| 項目 | 割合 |
|-------------|-------|
| 取材 | 43.8% |
| 発表練習 | 15.6% |
| プレゼン資料作成 | 31.3% |
| まちづくりヒーロー探し | 9.4% |

●プレゼンで取材した人物についてどう感じましたか？(2つ選択) ※生徒32人へのアンケート

| 項目 | 人数 | 割合 |
|---------------------------|----|-------|
| 知識や技能に感心した | 13 | 40.6% |
| 専門分野の内容や背景に関心を持った | 20 | 62.5% |
| 価値観、目標や夢などは自分と似ていたり、理解できた | 10 | 31.3% |
| 自分と考え方や視点が異なっており、良い刺激になった | 21 | 65.6% |

●取材や大会を通して得られた変化や成長を教えてください。 ※生徒、担当教諭38人へのアンケート

メンバーで協力してプレゼンを作成しました。その際に、みんなで意見を出し合いながらブラッシングを行い、メンバーの考えやアドバイスが自分の中でかなり刺激になりました(普通科2年)

この機会を通して、滅多に関わることができない方にインタビューができ、地元への愛が深まりました。(商業系学科3年)

たくさんの高校生の発表を聞いて、それぞれ良さがあって伝えたいことや思いを聞くことができとても楽しかったです。(総合学科1年)

生徒及び教員が地域と関わる良い機会であった。また大会のため生徒が自主的に行動し練習することで、成長につながり今後も継続して参加していきたい。(担当教諭)

| | |
|-------|--|
| 大会日時 | 2024年8月18日(日) 受付: 10:00～ 大会開始: 10:30～ ※休憩(昼食) 12:00～13:00 大会終了: ～16:00 ※参加チーム数により、時間の変更有。ご了承ください。 開催場所: 国立大洲青少年交流の家 愛媛県大洲市北只1086 TEL0893-24-5175 |
| お問合せ先 | ゆるサポ愛媛 「まちづくりヒーロープレゼンコンテスト」実行委員会事務局 〒799-1101 愛媛県西条市小松町新屋敷甲353-4 「まちでこ」内 TEL 0898-35-2712 FAX 0898-35-2713 ゆるサポ愛媛Mail yurusapo.ehime@gmail.com ゆるサポ愛媛HP https://xn--28j1as4g.jp/yurusapoehime_home/yurusapo_ehime/ 営業時間 :10:00～17:00 定休日:木曜・日曜・祝祭日 |